

このナカちゃん親子のお話は、決していい話ではありません。

香川県のあちこちで、このようなことが起こっています。

地域にいる犬にエサを与える人たちは、皆さん優しい気持ちからです。

しかしながら、エサを与えられた動物は自然の摂理で子孫を残そうと繁殖します。

たくさんの子犬を産み、その子たちはやがて野良犬になります。地域の人たちの手に余り、迷惑になりはじめると、保健所の電話が鳴るのです。

長い間、自由に過ごしていた成犬は人に馴れにくく、逸走する可能性が高いため、家庭犬として飼うのはとても難しいことです。

保健所に收容されてくる犬のほとんどが、飼い主のわからない野良犬です。

ナカちゃん親子のような犬をなくすことが、犬の殺処分を減らす第一歩なのです。

